

足の探究から歩行の介助一足で歩くことからの気づき ～歩行のセンサリー・アウェアネス的考察～

日時と場所 10月 3日(日) 広島

会場：鯉城会館 〒730-0051 広島市中区大手町 1-5-3

11月 14日(日) 横浜

会場：TKP 横浜駅西口ビジネスセンター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-1 横浜谷川ビルディング ANNEX 地下2階

講師 澤口裕二先生(土別市立病院) 植木小百合先生(旭川厚生病院)

ホームページ：「さあさんの秘密の小窓」<http://awareness.secret.jp/indexnews.shtml>

受講料 10,000円

進化発生学、人の発達などから多角的に歩く事、そして人に触れることを学びます。

健康に携わるすべての人に学んで欲しい、澤口先生からしか受けることのできない教育です。

《参考》 センサリー・アウェアネスとは

1910年代ベルリンでエルザ・ギンドラー氏が自分自身の片肺の結核をきっかけに開発された。呼吸・身体・感覚に、より気づき目覚めてゆくための実践をはじめた。彼女は自分の呼吸に意識を向けて、空気がどこまで入っていくのか感じ、コントロールすることも行った。

そして1年後ギンドラー氏は、この実践を伝えるための教室を開いた。当時はまだセンサリー・アウェアネスという名前ではなく、「全体としての人についての勉強(Work)」などと呼ばれていた。

ギンドラーの弟子、シャーロット・セルバーは受け継いだ実践に「センサリー・アウェアネス」と名づけ、1983年からアメリカでワークを展開した。E・フロム、F・パールズはシャーロットの弟子であり、センサリー・アウェアネスは、M・フェルデンクライスやW・ライヒにも多くの影響を与えている。

私たち人間の「生きる」ということの基本的なはたらき、つまり、感覚、からだ、動き(ムーヴメント)ー坐る、立つ、ねる、歩くー、呼吸などといった、その最も単純な機能と行動を、自然のままのかたちで「体験」し、人間が「生きる」ということの基盤を探究する「実習」(practices)または「実験」(experiments)がセンサリー・アウェアネスであると言われている。

お申し込みは、[CARE PROGRESS JAPAN ホームページ](http://careprogress.jp)の

申し込みフォームよりお願いいたします。

皆さまのご参加をお待ちしております！



official web site URL : <http://careprogress.co.jp>

メール:reception@careprogress.co.jp